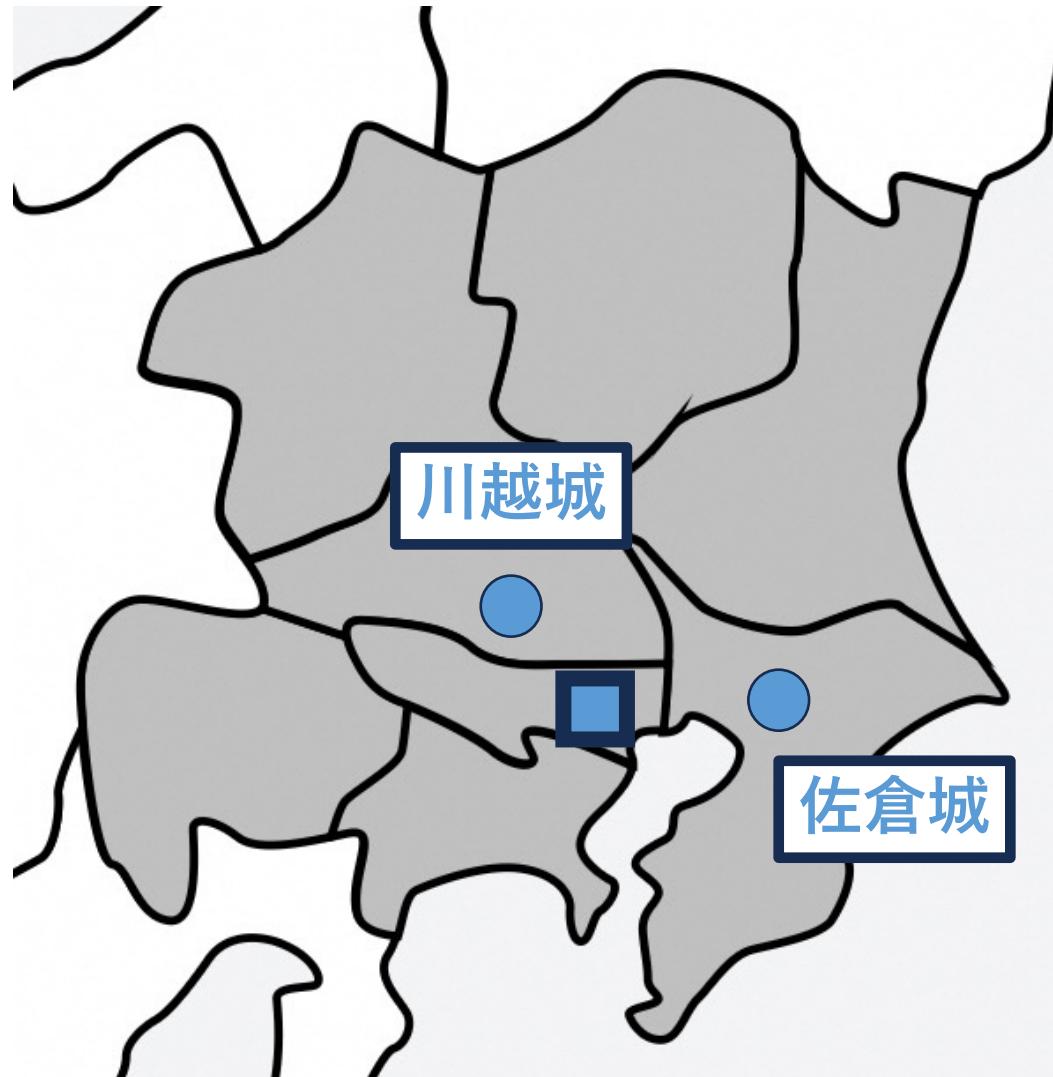


「老中の城」「老中の居城」と上杉家

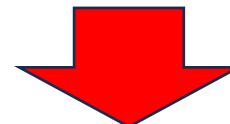


佐倉藩；最多の老中を輩出

上杉謙信公が敗北^{*}したとされる土地

川越藩；2番目に多く老中を輩出

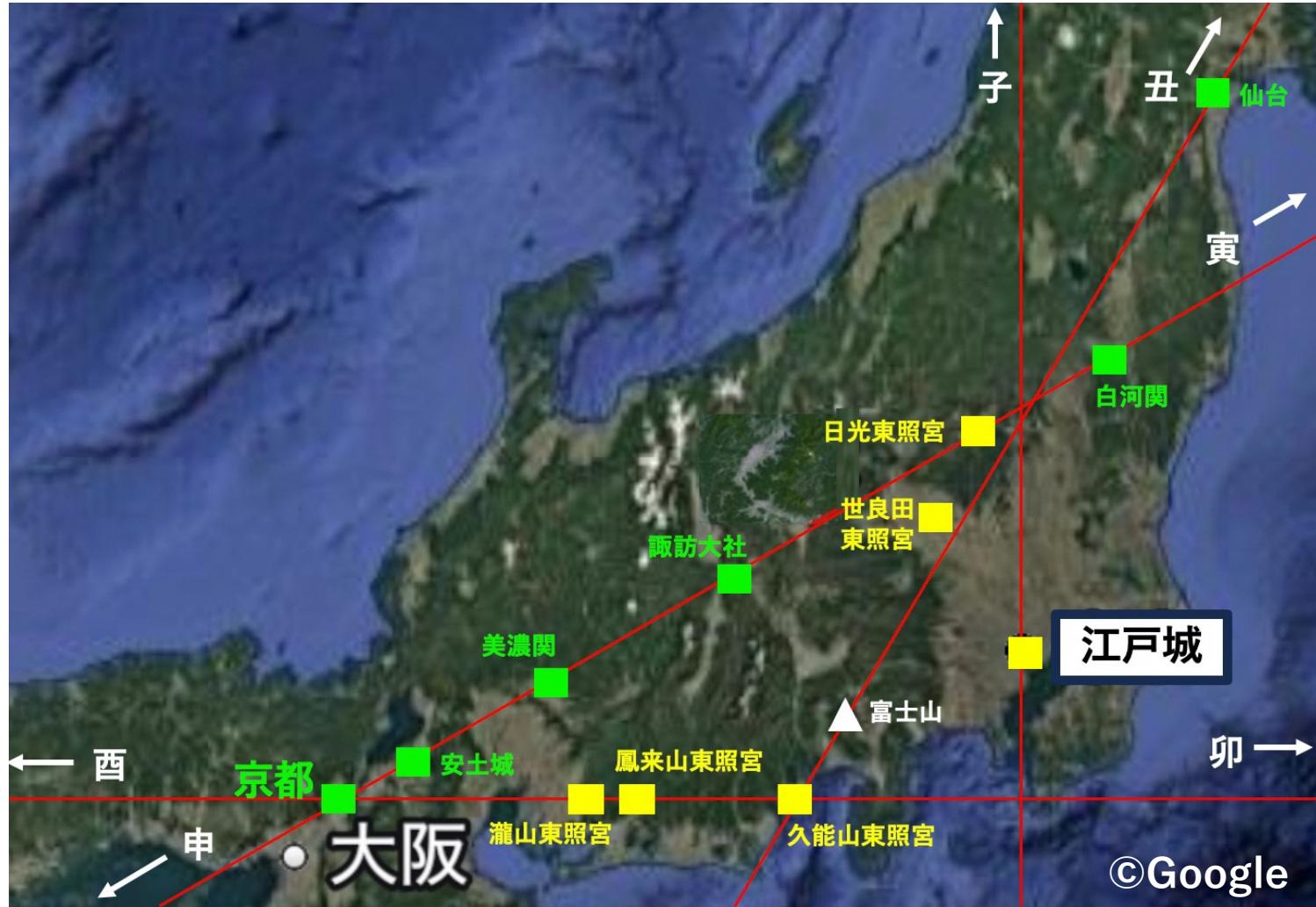
分家の上杉家が滅亡した戦の地



上杉家は特別な扱いを受けていた

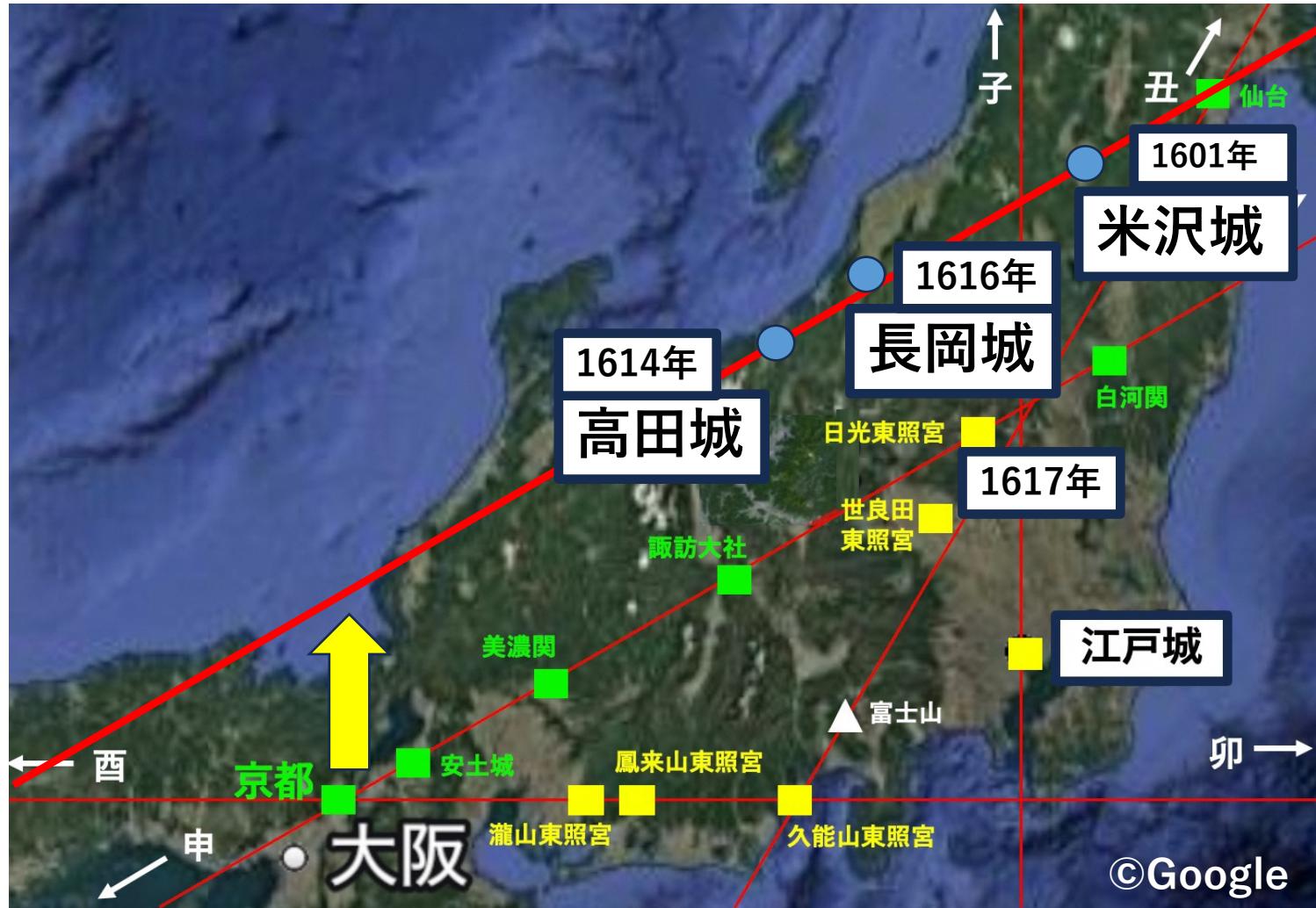
* 但し、謙信公は在陣・指揮せず、名を貸していただけと伝わる。

鬼門封じの思想が取り入れられた都市計画



平安時代より、鬼門封じは京の都を守護するための思想として王道。

鬼門封じの思想が取り入れられた都市計画



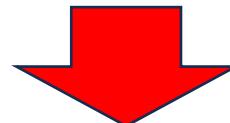
平安時代より、鬼門封じは京の都を守護するための思想として王道。

鬼門封じの思想が取り入れられた都市計画



① 米沢にあって謙信公は上越、高田を守る神様として神格化されたこと。

② 日光東照宮が上越の歴史を踏まえてこの場所に定まつたこと。



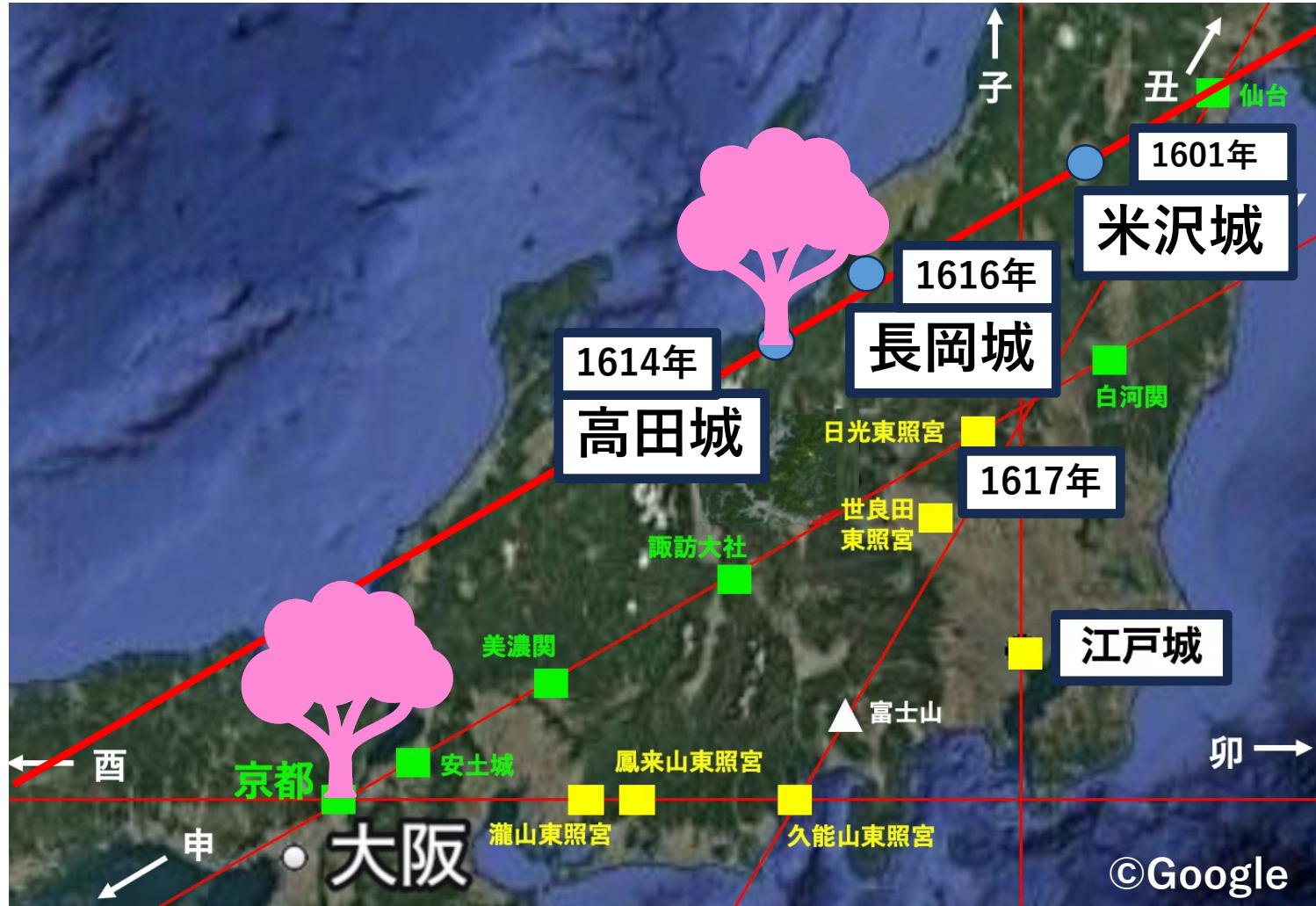
上杉家が徳川将軍家から格別な配慮を受けていた。

上杉謙信公は関東で幕府を開けていた？

「吾妻鏡」による、幕府を開く3条件	源頼朝	上杉謙信
武士の長者	源頼朝	上杉謙信
東国の武士団	○（北条時政ら）	○（小田原城を包囲するだけの団結。 11万3000とも）
朝廷の権威	以仁王の令旨	<ul style="list-style-type: none">・治罰の綸旨（写しが国宝）・現役関白の越後下向・上杉家より皇室にお妃として入る。 *その直系子孫が現在の皇室。

- ・源頼朝より謙信公の方が征夷大将軍になる条件が揃っていた。
- ・関東平野を自らの所領にしなかったところが謙信公の「義」。

謙信公は大樹（征夷大將軍）かつ桓武天皇？



- ①高田には桃の大樹*（征夷大將軍の格）がある
- ②越後国を京都に見立てた？
- ③謙信公を桓武天皇に見立てた？

*宇多天皇の頃に日本に渡來した古代中国の地理書『山海經』が鬼門の初出とされており、「（意訳）東の海にある度朔山の頂に大きな桃の樹がある。（その大樹から）北東に鬼（死者の靈）の出入り口があり、それを鬼門と呼ぶ」という。

そこから逆算すれば、鬼門封じ（仙台城、米沢城）から南西にある高田（「山」に見立てている）には大きな桃の樹があることになる。

東海中有度朔山、上有大桃樹、蟠屈三千里、其卑枝門日東北鬼門、萬鬼出入也。（『山海經』の該当箇所）

高田は平安京なのか？

西



白虎/大きな道



北

四神相応

南



朱雀/開けた湿地
帯・平野と水辺

東



青龍/河川

高田は平安京なのか？

西 白虎/大きな道

佐渡金山の金を江戸に
運んだ北国街道

南 朱雀/開けた湿地
帯・平野と水辺

南に向けて開けた平野
に水辺、乗国寺



北 玄武/高い山

北に山はないが、
北辰(真北)に戦いの神を
まつる直江八幡宮

東 青龍/河川

関川

「北辰」について

■ 「北辰」にある直江八幡宮の意味とは

「北」；北を守護する戦いの神は毘沙門天

「辰」；「辰」は干支で龍の意味であることから「越後の龍」すなわち謙信公
→北も辰も北辰（の直江八幡宮）も上杉謙信公を意味している。

■ 「北辰」の意味（1）北極星

- ・妙見信仰での「北極星」→戦いの神で、玄武を乗り物とする

四神相応の完成

- ・中国の古典、史記での「北極星」→北斗七星を乗り物とする（後述）

「北辰」について

■ 「北辰」の意味（2）天子。天皇。

上杉謙信公は、両親とも桓武平氏の長尾家で、父母とも先祖は桓武天皇。

→上杉謙信公を桓武天皇と見立てて、高田を建設する宣言。

■ 「北辰」の意味（3）皇居。天子のおはすところ。

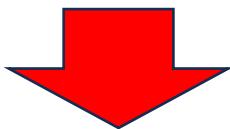
①江戸城 秀吉が家康の本拠に定めた城。上杉家重臣が建設した城が起源。
江戸時代は徳川将軍が住み、現在は皇居。

②伏見城 謙信公が見立てられた桓武天皇のお墓の上に建設された城で、
秀吉が晩年に政務を行なった日本政治の中心。家康、秀忠、家光
の3将軍が征夷大将軍に任命された場所で、家康が幕府を開いた場所。
また、秀吉没後、家康が伏見在城時に生まれた三人の男子が徳川御三家。
廃城後、桃の木が植えられて桃山となり、安土桃山時代の用語が生まれた。

江戸幕府による謙信公の天下人認定



信濃川を淀川に見立てると、
新潟湊は（桓武天皇の先祖）中大兄皇子と、（上杉氏の祖）藤原鎌足が築いた難波宮？



謙信公は関東全てに加え、京都（高田から長岡）、大阪（長岡から新潟）という西国を中心とした天下人だった。

直江八幡宮を際立たせるインсталレーション -江戸城-



(实物は確認していません。あくまで神社にまつわる言い伝えとして)

高田城の北には源義経の(兜と)鎧があり、
江戸城の北には平将門の兜、首塚、鎧がある。

* 安倍貞任を討伐後に源義家が八幡宮の像を納め、時代が下って源義経が鎧を奉納し、兜を池に投じたと伝わる。但し、御館の乱で像と兜は失われた。(神社本庁 平成「祭」データ、1995)

** 伝承でも、江戸時代以前に兜は紛失したとされる。(神社本庁 平成「祭」データ、1995)

直江八幡宮を際立たせるインсталレーション -江戸城-



©Google

1. 謙信公が敗北したとされる（千葉県）佐倉の地で信仰されている妙見信仰で謙信公を解釈しても、謙信公は戦いの神（北辰）として、謙信公を神格化。
2. 江戸城は、元々上杉家重臣が建設したことで知られた上杉氏の城であって、上杉宗家は越後上杉氏であったと認定。
3. 妙見信仰は革命の思想と言われる。後北条氏（伊勢氏）にしろ謙信公（長尾氏）にしろ桓武平氏で、徳川氏は源氏なので、桓武平氏から源氏へと統治者の交代という革命が起きたと説明し、「星を読む技術」で徳川の関東支配を正当化。

直江八幡宮を際立たせるインсталレーション -春日大社-



春日神社は高田の都市計画で特別な意味を持つ

春日新田の春日神社(1607年)と南高田の春日神社(1613年)を結んだ線と並行になるよう、高田城建設時に北国街道（現在は本町通り）は南北から傾けられたと伝わる。

直江八幡宮を際立たせるインсталレーション -春日大社-

天皇の生母の8割以上を占めて
いる藤原氏の氏寺

野生の鹿の生息地



直江八幡宮を際立たせるインсталレーション -春日大社-



春日大社の国宝 「赤糸威大鎧 竹虎雀飾」

- ・直江八幡宮の鎧と同じ由来を持ち、謙信公の偶像となり得る究極の鎧。
- ・信玄公が秦から漢への中国の王朝交代時に最強の將軍として活躍した韓信に謙信公を見立てて賞賛した言葉が残る。
- ・中国古典の史記の韓信伝で、帝位、天子の証を意味するとされる「鹿」がたくさん生息しているところに謙信公に見立てた鎧が国宝として保管されている。
→幕府が信玄公の言葉を引き取って謙信公を天下人認定。

直江八幡宮を際立たせるインスタレーション -春日大社-

1. 上杉氏は、今昔物語に収録されている、日本最古のシンデレラストーリーによって始まったと言われている。卷22「高藤内大臣語、第七」
2. 家族愛も感じさせる、シンデレラストーリーによって生まれた女性が、臣籍降下して源氏姓になった方に嫁ぎ、その方が天皇（宇多天皇）に即位するという前代未聞の奇跡を起こした家が上杉家（勧修寺流）。
3. 春日大社に義経由来の鎧兜があるということは、その故事に倣い、上杉家の神通力によって、源氏の嫡流たる徳川将軍を日本の天子に引き上げてほしいという願いが込められて、謙信公は崇拜の対象となっている。



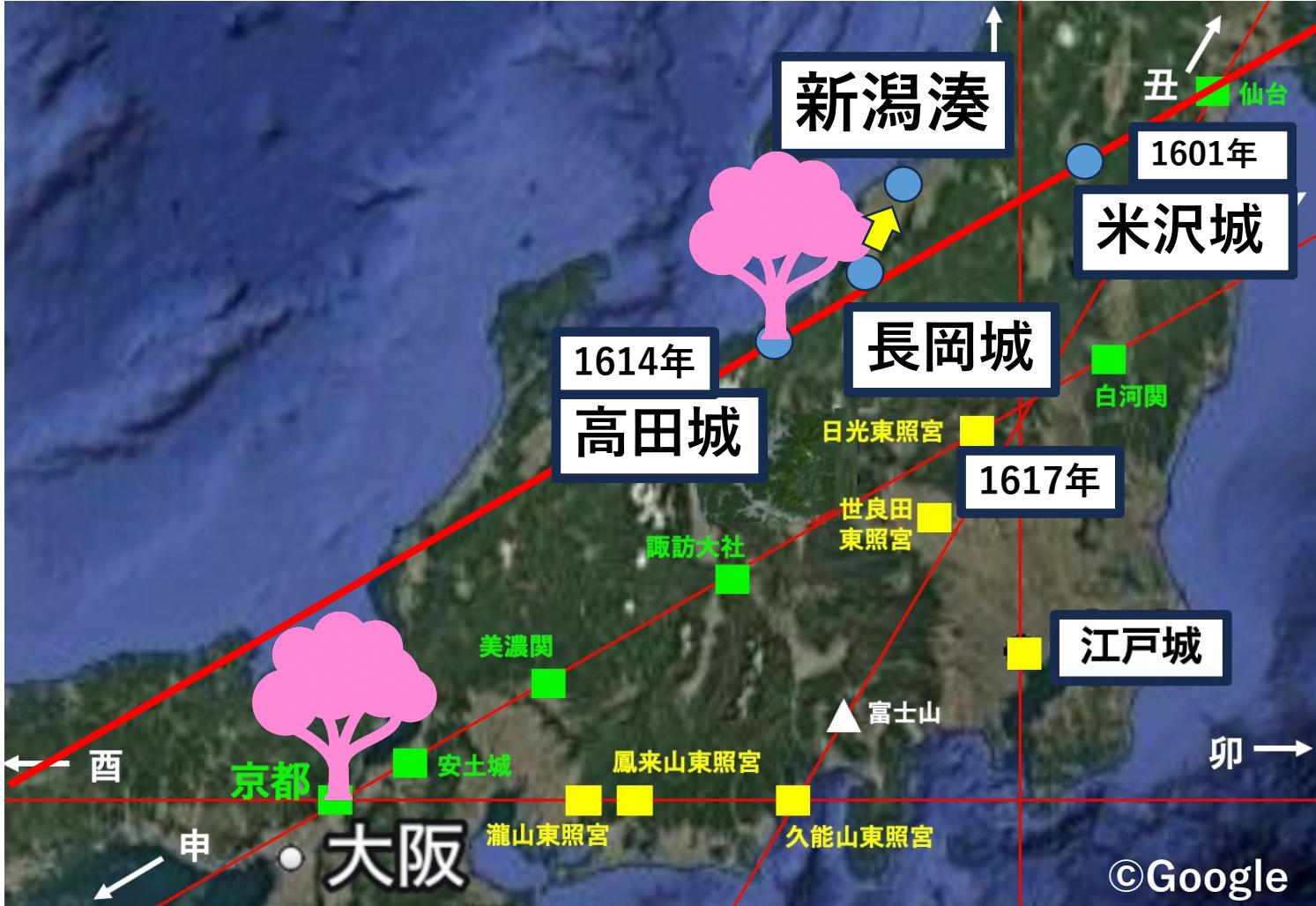
直江八幡宮における公権力のブランディング

あざなえる縄の如し



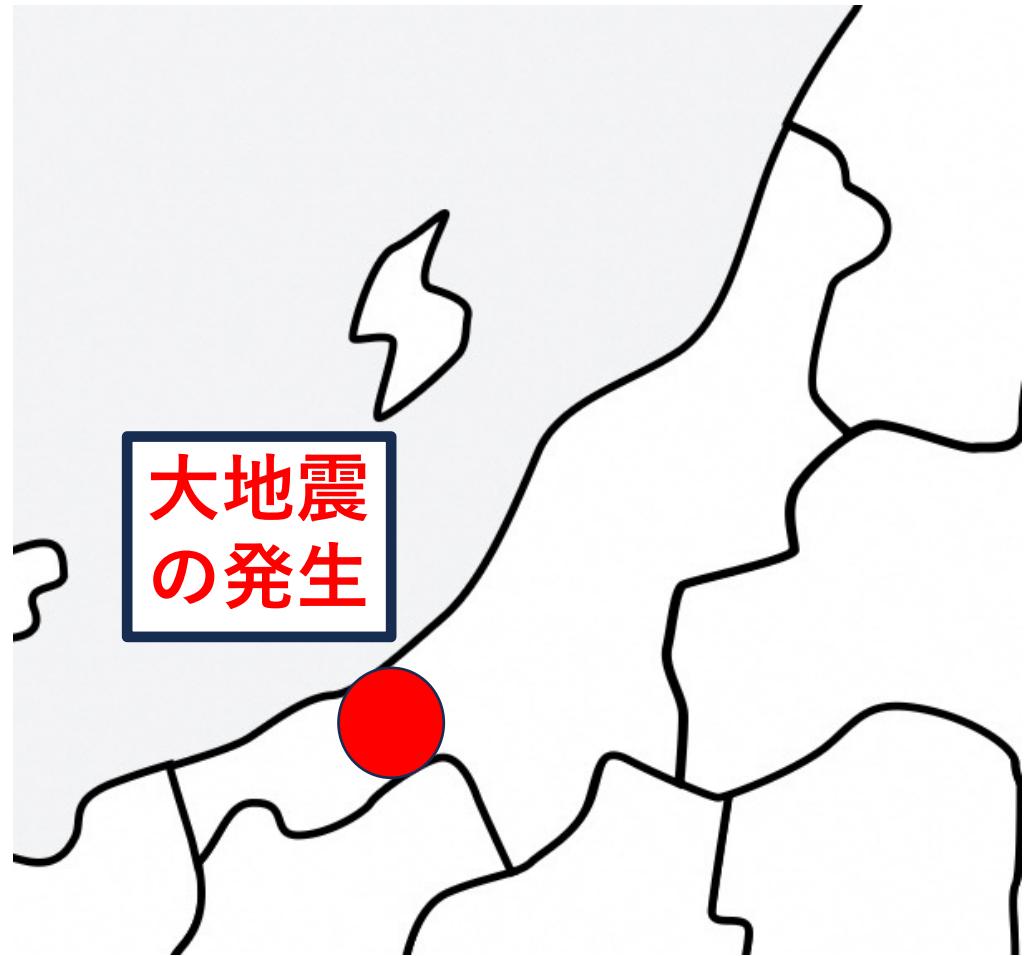
1. 源氏の人物の中でも、征夷大将軍にはならなかったが、世間の評判、実力ともに当代随一であった源義家、源義経の名前を挙げて謙信公の武勇を讃え、
2. 源義家や源義経が属する源氏の嫡流である徳川将軍家に、謙信公にまつわる「龍」のイメージを付与して徳川将軍家に「龍」のイメージをブランディングし、
3. 藤原北家勸修寺の流れを汲む上杉謙信公を崇拜の対象として、上杉家の神通力によって、源氏姓の徳川将軍を日本の天子に引き上げてほしい願いが込められている。

平和への願い



1. 新潟湊を難波宮に見立てて建設することには秀吉の朝鮮出兵がなかった状態に国際関係を戻したい意図が感じられる
2. 戦国時代に戦で命を落としたり、戦に巻き込まれて犠牲になった方々の無念、悔しさを征夷大將軍の格のある人物を配して鎮魂し、これから戦のない天下泰平の世を作り出す覚悟
3. 「征服」や「篡奪」を美化する風潮にあって、それを否定して秩序を求めた謙信公に徳川將軍は天下泰平の理念を求めた。

天災に見舞われた上越・高田



1666年 寛文高田地震 M6.5-M6.8

- ・筆頭家老、次席家老死亡
- ・城下の侍屋敷で死者150人余り
- ・寺社、住民の死者460人ほど

→お家騒動勃発。改易されて以後上越より
家康の血縁者がいなくなる

1751年 宝暦高田地震 M7.0-M7.4

- ・名立崩れなど死者多数

鬼門を守る謙信公のありがたみが薄れ、高田城の
都市計画の根本が崩れ、当初の計画がらかけ離れ
た歴史を辿ることに。天災に負けた。

提案

- ① 四神相応にかなった高田の文化財を保護すべき。
- ② 日本の歴史、日本の政治に占めてきた上越、高田の活躍や役割をもっと積極的に全国に宣伝、周知し、**高田の街並みの大々的な再開発や高級化を目指すべき**。若者がふるさとへの愛着を持ち、高田の街のこれから変化の兆しを感じ取れるようにするべき。
- ③ 高田は世界の宝である。高田の再開発を進めて、文化庁が主催する「日本遺産」に高田が認定されるよう目指すべき。